

選 択 科 目

授業科目	動物看護実習 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科 動物管理学科 選択希望者	2 年次（前期）	必須	実技/講義	8
担当教員	外山 朋子・竹口真理				
実務経験歴	【外山】 認定動物看護師資格習得し、動物病院にて5年間勤務 【竹口】：動物病院に勤め医療に従事				
授業目的	動物看護業務、動物病院業務の基礎を学ぶ				
達成目標	動物看護業務、動物病院業務の基礎の習得				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)	定期試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1 ～2	オリエンテーション				
3～7	受付業務（受付事務・電話対応・接遇マナー）				
10～14	受付業務（各種証明書、各種ワクチンについて）				
15～19	疾患名				
20～24	診療補助業務（各種保定法）				
25～29	診療補助業務（グルーミング）				
30～34	診療補助業務（消毒、滅菌法）				
35～38	診療補助業務（手術等器具について）				
39～42	診療補助業務（手術等器具の取り扱い）				
43～45	診療補助業務（手術準備、手術補助他）				
46～48	診療補助業務（各種手術準備、手術補助他）				
49～51	検査業務（各種検体処理）				
52～56	検査業務（検査機器について）				
57～59	検査業務（各種検査について）				
60	前期定期試験・総評・まとめ				
備 考					

授業科目	動物看護実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科 動物管理学科 選択希望者	2 年次（後期）	必須	実技/講義	8
担当教員	外山 朋子・竹口真理				
実務経験歴	【外山】 認定動物看護師資格習得し、動物病院にて5年間勤務 【竹口】：動物病院に勤め医療に従事				
授業目的	動物看護業務、動物病院業務の基礎を学ぶ				
達成目標	動物看護業務、動物病院業務の基礎の習得				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)	定期試験（100％）				
授業内容とスケジュール					
1 ～2	前期振り返り				
3～7	受付業務振り返り				
10～14	各種手術について振り返り				
15～19	検査業務（各種検査について）				
20～24	検査業務（各種検査機器について復習）				
25～29	検査業務（各種検査の実際）				
30～34	検査業務（放射線保護等）				
35～38	入院動物看護業務（入院犬舎管理・清掃・衛生管理・環境管理）				
39～42	入院動物看護業務（入院動物管理）				
43～45	飼育者指導業務（飼養指導）				
46～48	飼育者指導業務（給餌指導）				
49～51	飼育者指導業務（デンタルケア指導）				
52～56	獣医師法及び愛玩動物看護師法について				
57～59	獣医師及び愛玩動物看護師資格を必要としない業務				
60	前期定期試験・総評・まとめ				
備 考					

授業科目	グルーミング実習Ⅰ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科 動物管理学科 選択希望者	2年次（前期）	選択	実技	8単位
担当教員	三善 知美、平田 康、岡本 侑也、日高 弥生、森田 美桜				
実務経験歴	三善：JKCトリマー、ハンドラー資格を有しペットショップに従事。 平田：JKCトリマー資格を有し、動物病院に従事。 岡本：JKCトリマー資格を有し、ドッグサロン及びトリマー育成教育に従事。 日高：JKCトリマー資格を有し、動物病院に従事。 森田：JKCトリマー資格を有し、ペットショップに従事。				
授業目的	グルーミングコース：ペットショップやドッグサロンでトリマーとして従事できる技術を修得する/ ドッグトレーニングコース、ドッグセラピーコース、動物看護コース：それぞれの職種に就くものとして、犬の健康管理と衛生管理の一環としたグルーミング技術を修得する。				
達成目標	GRコース：JKCトリマー資格取得を目指す。また、一般の家庭犬が日常生活や健康状態を考慮しより可愛くグルーミング仕上げを行うことができる技術を修得する。/VTコース、DTコース、DSコース：犬の健康状態を把握した上で、適切なブラッシングやシャンプー、爪切りや耳掃除などの基礎的なグルーミングを行うことのできる技術を修得する。				
授業時間外に必要な学修	家庭犬や学校飼育犬の日頃の管理をとおして犬の身体の異変やコート管理など、小さな異変にもより早く気付くことのできる観察力を磨く。				
テキスト	最新ドッググルーミングマニュアル/JKC，トリマーのためのベーシックテクニック/緑書房				
参考書	プロが教えるベストトリミング/インターズー				
成績評価(割合)	実技試験（100%）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュールGR / 授業内容とスケジュールVT，DT，DS					
1～2	各犬種のグルーミング・トリミング1		/受付業務，カルテの見方，書き方		
3～7	各犬種のグルーミング・トリミング2		/グルーミング器具の持ち方、扱い方、衛生管理		
10～14	各犬種のグルーミング・トリミング3		/施設の衛生管理		
15～19	各犬種のグルーミング・トリミング4		/犬の抱き方、扱い方、犬舎出し入れの仕方		
20～24	各犬種のグルーミング・トリミング5		/リボンの作製とセットの方法		
25～29	各犬種のグルーミング・トリミング6		/犬の健康確認の方法と記録の取り方		
30～34	各犬種のグルーミング・トリミング7		/ブラッシングの方法		
35～38	各犬種のグルーミング・トリミング8		/各部位の手入れの方法		
39～42	各犬種のグルーミング・トリミング9		/リボンの作製とセットの方法		
43～45	各犬種のグルーミング・トリミング10		/シャンプーやコンディショナーの選択と希釈の方法		
46～48	各犬種のグルーミング・トリミング11		/ペイジングの方法と手（基礎1）		
49～51	各犬種のグルーミング・トリミング12		/タウェリングの方法と手順（基礎1）		
52～56	各犬種のグルーミング・トリミング13		/ドライイングの方法と手順（基礎1）		
57～59	各犬種のグルーミング・トリミング14		/足裏，足周り，肛門周りのトリミング		
60	筆記試験及び実技試験・総評				
備考					

授業科目	グルーミング実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科 動物管理学科 選択希望者	2 年次（後期）	選択	実技	8 単位
担当教員	三善 知美、平田 康、岡本 侑也、日高 弥生、森田 美桜				
実務経験歴	三善：JKCトリマー、ハンドラー資格を有しペットショップに従事。 平田：JKCトリマー資格を有し、動物病院に従事。 岡本：JKCトリマー資格を有し、ドッグサロン及びトリマー育成教育に従事。 日高：JKCトリマー資格を有し、動物病院に従事。 森田：JKCトリマー資格を有し、ペットショップに従事。				
授業目的	GRコース：ペットショップやドッグサロンでトリマーとして従事できる技術を修得する/ VTコース、DTコース、DSコース：それぞれの職種に就くものとして、犬の健康管理と衛生管理の一環としたグルーミング技術を修得する。				
達成目標	GRコース：JKCトリマー資格取得を目指す。また、一般の家庭犬が日常生活や健康状態を考慮しより可愛くグルーミング仕上げを行うことができる技術を修得する。/VTコース、DTコース、DSコース：犬の健康状態を把握した上で、適切なブラッシングやシャンプー、爪切りや耳掃除などの基礎的なグルーミングを行うことのできる技術を修得する。				
授業時間外に必要な学修	家庭犬や学校飼育犬の日頃の管理をとおして犬の身体の異変やコート管理など、小さな異変にもより早く気付くことのできる観察力を磨く。				
テキスト	最新ドッググルーミングマニュアル/JKC / 特になし				
参考書	プロが教えるベストトリミング/インターズー				
成績評価(割合)	実技試験（100%）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュールGR / 授業内容とスケジュールVT，DT，DS					
1～2	各犬種のグルーミング・トリミング1 /受付業務，電話対応，金銭の授受				
3～7	各犬種のグルーミング・トリミング2 /受付時の犬の健康の確認とグルーミング要望の聴取				
10～14	各犬種のグルーミング・トリミング3 /犬種や状態に応じた器具の選択と使用方法				
15～19	各犬種のグルーミング・トリミング4 /リボンの作製とリボンセ付け				
20～24	各犬種のグルーミング・トリミング5 /犬種や犬の状態に応じたグルーミングの方法 1				
25～29	各犬種のグルーミング・トリミング6 /犬種や犬の状態に応じたグルーミングの方法 2				
30～34	各犬種のグルーミング・トリミング7 /犬種や犬の状態に応じたグルーミングの方法 3				
35～38	各犬種のグルーミング・トリミング8 /犬種や犬の状態に応じたグルーミングの方法 4				
39～42	各犬種のグルーミング・トリミング9 /犬種や犬の状態に応じたグルーミングの方法 5				
43～45	各犬種のグルーミング・トリミング10 /犬種や犬の状態に応じたグルーミングの方法 6				
46～48	各犬種のグルーミング・トリミング11 /犬種や犬の状態に応じたグルーミングの方法 7				
49～51	各犬種のグルーミング・トリミング12 /犬種や犬の状態に応じたグルーミングの方法 8				
52～56	各犬種のグルーミング・トリミング13 /犬種や犬の状態に応じたグルーミングの方法 9				
57～59	各犬種のグルーミング・トリミング14 /犬種や犬の状態に応じたグルーミングの方法 10				
60	筆記試験及び実技試験・総評				
備考					

授業科目	ドッグトレーニング実習Ⅰ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科 動物管理学科 選択希望者	2年次（前期）	必須	実技/講義	8
担当教員	畠山 博文				
実務経験歴	一般社団法人ジャパンケネルクラブ公認訓練士。犬のしつけ・アジリティー教室を開催経験があり、現ドッグトレーニングコースのコース長を務める。				
授業目的	各コースで必要となる犬のコントロール技術を学ぶ				
達成目標	しつけトレーニングの基礎を学び、実習を通してリードコントロールの技術を習得する。				
授業時間外に必要な学修	各コースの飼育動物の飼育管理をする上で日々の観察力を養う。				
テキスト	犬のしつけ学（基礎と応用）/インターズー				
参考書	愛犬と一緒に今日からはじめるアジリティー/インターズー				
成績評価(割合)	定期試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1～2	しつけ、トレーニングの必要性・重要性				
3～7	訓練道具・用具の説明				
10～14	基本トレーニング①〈犬とのコミュニケーション〉				
15～19	犬との暮らし方学について				
20～24	犬のトレーニング学について				
25～29	実技における必要なコマンド①				
30～34	実技における必要なコマンド②				
35～38	実技における必要なコマンド③				
39～42	トレーニングの2つの手法				
43～45	犬の行動を引き出す3つの方法①				
46～48	犬の行動を引き出す3つの方法②				
49～51	犬の行動を引き出す3つの方法③				
52～56	犬のボディーランゲージ				
57～59	犬のカーミングシグナル				
60	前期定期試験・総評・まとめ				
備 考					

授業科目	ドッグトレーニング実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科 動物管理学科 選択希望者	2 年次（後期）	必須	実技/講義	8
担当教員	畠山 博文				
実務経験歴	一般社団法人ジャパンケネルクラブ公認訓練士。犬のしつけ・アジリティー教室を開催経験があり、現ドッグトレーニングコースのコース長を務める。				
授業目的	犬のコントロールと人と犬との調和の大切さを知る。				
達成目標	犬のコントロール技術を身に付け、犬と人との調和が必要となるドッグスポーツを行う事が出来る様になる。				
授業時間外に必要な学修	各コースの飼育動物の飼育環境を考え、調和のとれた飼育について考える。				
テキスト	犬のしつけ学（基礎と応用）/インターズー				
参考書	愛犬と一緒に今日からはじめるアジリティー/インターズー				
成績評価(割合)	定期試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1 ～2	正の強化と効果				
3～7	一次性・二次性強化子と関連づけ				
10～14	嫌悪刺激について				
15～19	基本トレーニング②〈トレーニングの手法を使って行動の強化と安定〉				
20～24	行動の形成①（プランを立てる）				
25～29	行動の形成②（プランを実施）				
30～34	行動の形成③（プランを実施）				
35～38	ドッグスポーツアジリティーの基礎知識				
39～42	アジリティー障害への意識付け①				
43～45	アジリティー障害への意識付け②				
46～48	アジリティーコースの攻略ポイント①				
49～51	アジリティーコースの攻略ポイント②				
52～56	アジリティーコースの攻略ポイント③				
57～59	1 年間の取り組み発表				
60	後期定期試験・総評・まとめ				
備 考					

授業科目	ドッグセラピー技術学Ⅰ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科 動物管理学科 選択希望者	2 年次（前期）	選択	実技	8 単位
担当教員	竹下恵里佳、尾崎夏美				
実務経験歴	竹下：平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務。平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立。 尾崎：高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施。				
授業目的	アニマルセラピスト初級の対策講座を中心に、犬の基本知識を身につけ、実際に犬をさわりながらトレーニングの基礎を学ぶ				
達成目標	アニマルセラピスト初級の内容を理解し犬の性格を把握しながらコントロールできる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100％）				
授業内容とスケジュール					
1～5	アニマルセラピーについて				
6～10	ドッグセラピーとは				
11～15	犬の基本知識/実際に犬の歯の本数を数える				
16～20	犬の性格について/犬と遊ぶ				
21～25	トレーニングする上で大切なこと/リードをつけて犬をさわる①				
26～30	しつけ訓練について/リードをつけて犬をさわる②				
31～35	基本トレーニング①/アイコンタクト・オイデの練習				
36～40	基本トレーニング②/オスワリ・フセの練習				
41～45	犬のストレス/ツイテの練習				
46～50	ボディーランゲージ/マテの練習				
51～55	カーミングシグナル・ボディコントロール/実際にボディコントロールをする				
56～57	能動的服従・受動的服従/基本トレーニングを使いながらコントロールする①				
58	JKCグループ分け/基本トレーニングを使いながらコントロールする②				
59	期末試験対策/基本トレーニングを使いながらコントロールする③				
60	期末試験・総評・まとめ				
備 考					

授業科目	ドッグセラピー技術学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科 動物管理学科 選択希望者	2 年次（後期）	選択	実技	8 単位
担当教員	竹下恵里佳、尾崎夏美				
実務経験歴	竹下：平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務。平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立。 尾崎：高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施。				
授業目的	アニマルセラピスト初級の対策講座を中心に、犬の基本知識を身につけ、実際に犬をさわりながらトレーニングの基礎を学ぶ				
達成目標	アニマルセラピスト初級の内容を理解し犬の性格を把握しながらコントロールできる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1～5	セラピーについて、復習				
6～10	セラピーの対象者理解 復習				
11～15	仔犬の選び方/担当犬の性格・レベルを把握する①				
16～20	犬種団体・血統書/担当犬の性格・レベルを把握する②				
21～25	ハウストレーニング/実際に行う				
26～30	トイレトレーニング/担当犬のトイレスタイルを確認する				
31～35	犬体名称/実際に様々な犬の犬体名称をさわる				
36～40	骨格名称/実際に様々な犬の骨格名称をさわる				
41～45	様々な犬具/実際に犬具を使用する				
46～50	優良家庭犬試験について①/優良家庭犬試験内容の練習①				
51～55	優良家庭犬試験について②/優良家庭犬試験内容の練習②				
56～57	優良家庭犬試験について③/優良家庭犬試験内容の練習③				
58	優良家庭犬試験について④/優良家庭犬試験内容の練習④				
59	期末試験対策/優良家庭犬試験内容の練習⑤				
60	期末試験・総評・まとめ				
備考					